

科目名 (科目番号)	診療画像技術序論 (時間割参照)	教員名 村中 博幸 柳田 智	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	診療放射線技師という職業ができた歴史とともに発展してきた放射線技術学とは何かを概説する。そして診療放射線技師は、医療の中でどのような仕事をする職業なのか、その役割と責務、またチーム医療における役割についても理解する。次に診療画像技術に関する専門科目への導入として、医用画像装置の原理・構造、撮影技術を学ぶために必要となる基礎的事項について概要を知り、診療画像技術系専門科目の理解へ向けてスムーズに移行できるように学習することが目的である。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	診療放射線技術学概論(村中)	到達目標:診療放射線技術学とは何かを理解する。 学習内容:放射線技術学の歴史を知り、診療放射線技師の仕事内容を理解する。				
	2	放射線機器の見学(学内見学)(村中・柳田・)	到達目標:学内の放射線機器を見学し、機器の変遷から現状の画像診断の進歩を確認する。 学習内容:大学に設置している各種診断装置を実際に見て、検査の模擬体験をする。				
	3	放射線技師が扱う医療機器の概要①一般撮影(村中)	到達目標:X線撮影装置の基本構造と原理について理解する。 学習内容:診療放射線技師が扱う最も初歩的な一般撮影装置の特徴を説明する。				
	4	放射線技師が扱う医療機器の概要②造影撮影(村中)	到達目標:造影撮影の概要と造影剤の副作用について理解する。 学習内容:造影剤を使用する造影撮影について説明する。				
	5	放射線技師が扱う医療機器の概要③CT検査(村中)	到達目標:X線CT装置の基本構造と原理について理解する。 学習内容:X線CT装置の構造と特徴を説明する。				
	6	放射線技師が扱う医療機器の概要④MRI、超音波検査(村中)	到達目標:MRIと超音波装置の基本構造と原理について理解する。 学習内容:MR検査Iと超音波検査の特徴について説明する。				
	7	放射線技師が扱う医療機器の概要⑤核医学、放射線治療(村中)	到達目標:核医学と放射線治療装置の構造と概要を理解する。 学習内容:核医学検査と放射線治療の概要について学ぶ。				
	8	小活(村中)中間試験	到達目標:放射線技師が扱う医療機器の概要を理解する。 学習内容:各種装置の概要とその応用について復習する。				
	9	一般撮影序論(柳田)	到達目標:一般単純X線撮影の特徴とその臨床応用について理解する。 学習内容:X線撮影装置の概要とその応用について学習する。				
	10	X線CT撮影序論(柳田)	到達目標:X線CT検査の特徴とその臨床応用について理解する。 学習内容:X線CT装置の概要とその応用について学習する。				
	11	医療情報システム(柳田)	到達目標:医療情報システムの運用について理解する。 学習内容:医療情報システムの概要とその応用について学習する。				
	12	救急撮影序論()	到達目標:救急撮影の特徴とその臨床応用について理解する。 学習内容:救急撮影の概要とその応用について学習する。				
	13	核医学撮像序論・放射線管理()	到達目標:核医学検査の特徴とその臨床応用について理解する。 学習内容:核医学装置の概要と放射線管理について学習する。				
	14	放射線治療序論()	到達目標:放射線治療の特徴と放射線管理について理解する。 学習内容:放射線治療装置の概要と特徴について学習する。				
15	MRI検査序論(村中)	到達目標:MRIの特徴とその臨床応用について理解する。 学習内容:MRI装置の概要とその応用について学習する。					
成績評価の方法・基準	中間試験(50%)＋期末試験(50%)						
教科書	診療放射線技師マスターテキスト上巻・下巻	梁川功 高井良尋 石橋忠司	MEDICALVIEW				
参考図書	診療放射線技術 上巻 改訂第13版 診療放射線技術 下巻 改訂第13版	小塚隆弘/稲邑清也 監修	南江堂				
教員からのメッセージ	これから学習する専門科目の基礎的な内容を授業します。かなり広範囲となりますが、頑張りましょう。						